

質 問 順 位	11	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
1. 市長の基本姿勢	1. 明るい街づくりについて	1. 市内高校生がデザインした新しいバスは、街に明るさを与えていると大変好評である。他の自治体では、看板や歩道橋、公共施設の壁面等を活用し、観光や移住政策、特産品等の地域の魅力を発信しており、市外の方へのアピールとして有効である。本市は市外からの車も多く通っている交通の要衝であるため、本市でもSNSと両輪で、一際目を引く色彩豊かな看板等で街に彩りを与えるなど、リアル空間でも視覚効果で魅力発信を強化してはどうか。見解を伺う。		
2. 行政運営	1. 職員へのカスタマーハラスメント対策について	1. 全国の自治体で熊の出没が相次ぐなか、その度に駆除に関する多くの電話等が行政に殺到し、カスタマーハラスメントに悩まされていると報道されている。カスハラ防止関連法改正を踏まえ、本市職員が安全かつ安心して職務に精励できるよう、電話の自動音声化や録音等の対策が必要ではないかと考えるが、現状を伺う。		
3. 防災行政	1. 女性用防災備蓄品の運用及び有効活用について	1. 災害時の女性の健康と尊厳を守る観点から、生理用品の備蓄や更新に関する計画、避難所等での配布方法など、避難所における女性用防災備蓄品の取扱いについて考えを伺う。		
		2. メーカーによれば、生理用品の品質保証の目安は3年ほどとなっている。1年ないしは1年半のサイクルで防災備蓄品としての生理用品を、中学校などの教育現場に定期的に循環配備する仕組みを構築することについて見解を伺う。		

質 問 順 位	1 1	質 問 者	高 橋 江海子 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
4. 市民生活行政	1. ヒグマ対策について	1. 本市では今年、学校近隣の市街地付近でヒグマによる果物の食害があったほか、登校通勤時間帯にも出没情報があり、地域住民は不安を抱えている。現在の状況と今後の対策を伺う。		
		2. 猟銃を用いず、電気止め刺しによるヒグマ駆除を行うための研修が新十津川町で行われ、本市の職員が受講したと報道があった。ハンターの人手不足解消や職員の安全確保と市民保護の両立に向けた新たな手法として注目されるが、今後の活用方針及び実効性について伺う。		